

# YOKOSUKA

## LIFE PLANNER TSUSHIN

新時代へ。



# 新時代へ。

現在約38万人の横須賀市の人口は、17年後に31.8万人になると予測されています。人口減少に伴い税収が減る一方で、高齢化による社会保障費や医療費など歳出は増加していきます。公共施設の老朽化も進み、現存する施設の実に7割以上が築30年を超えています。施設維持や更新の為に2041年以降は毎年100億円以上の歳出が必要と試算されました。こうした厳しい現実に向き合いながら横須賀市では様々な施策を進めています。

6年間、市議会議員として多くの声を聞きながら仕事を進めてきた中で、課題解決の局面で常にネックになるのは財源と人手不足です。超少子高齢化が進み、これまでマンツーマンで行えていたサービスは、民官問わず、その在り方を変えざるをえなくなり、少ない人数でいかに多くのニーズを解決できるかが重要なポイントになります。

「働く効率を高めること」「働く人を増やすこと」「働く環境を整えること」「働く場所を増やすこと」「働く喜びを創造すること」が大切だと考えます。働く機運を高め、税収を増やす為の経済政策に注力し、教育・医療・福祉・環境などあらゆる市民サービスに繋がっていきたい。働くとは「人」の為に「動く」と書きます。金銭的な収入の有無に関わらず「働く」人が増えれば横須賀市の新時代は必ず明るくなると確信しています。

課題はすべて、可能性。目の前の課題だけではなく、中長期を含めた大局の視点を持ち、国際的な情報発信地Yokosuka Cityになる可能性を追い求め、様々な人と情報との出会いを経て、新たな価値を横須賀に持ち帰れるように活動してきました。これからも横須賀ライフプランナーとしての行動範囲を拡張しながら、市民の皆様が長期に渡り物心共に豊かな人生を送ることができる機会と環境を創造していきます。



## 働く効率を高める。

いま必要なのは、デジタルの仕組みをつくるIT人材と、デジタルの力を使いこなすための少しの努力です。日本におけるIT人材不足対策はOECD38か国の中でも進んでおらず2030年には最大73万人が不足するといわれています。政府は2020年度より小学校からプログラミングを必修化しましたが、外国語が必修になってから長年経つにも関わらず、実際に英会話ができる人は極めて少ない日本人です。必修になっただけではなく、より実践的に楽しみながら自己肯定感を高めていく事が大切だと考えます。学ぶ楽しさや自己肯定感を高める事は必ず他の科目の学力向上にも繋がります。こうしたデジタル教育の必要性を議会で度々発言してきました。

新たなIT人材を育成する目的で民間企業と連携し「よこすかプログラミング夢アカデミー」が開講され4年が経ちました。YRPやJAMSTECなど市内の研究機関にも協力を仰ぎながら、取り組みを進めた結果、全国的なコンテストでの入賞実績なども出始めています。

クリエイティブな思考を養うアートのジャンルでも横須賀市立横須賀総合高等学校美術部は日本一の実績を維持し続けている横須賀の大きな可能性です。高校生たちは必ずや日本の宝になる。引き続き応援していきます。

デジタルを苦手とする人達に、いかに使ってもらおうか。携帯電話会社の方々や「だれでもITプロジェクト」というオンラインの勉強会を行いました。10代から90代の方々が参加され、スマホの使い方を中心に学びました。その後行政主導で自治会などでも実施され、プロジェクトで培われたスキルは、携帯電話会社が行うその後の勉強会でも生かされています。



市議会議員として6年間注力してきたこと ② 誰もが気持ちよく働ける場所を

## 働く人を増やす。

前職が生命保険会社だったので「自分が天に旅立った後の子どものことを考えると不安でたまらない」「少しでも自立できる環境が欲しい」との声を聞いてきました。障がい者の法定雇用率が引き上げられましたが、雇用率がゴールになってしまうと、その先に様々なひずみが生まれます。必要なのは、障がいを持つ方が気持ちよく働くことの出来る環境整備です。障がいの有無を問わず誰にでも働きやすい環境整備は、多くの人の労働機会創出につながります。

ご縁がつながり、日本初の、自治体と特例子会社との連携協定が締結されました。人手不足に悩む農家と働く場所が欲しい障がい者とのマッチングです。全国の先進モデルとして日本中の課題解決につながったら嬉しいです。



市議会議員として6年間注力してきたこと ③ 子育てしながら働く家庭をサポート

## 働く環境を整える。

約7割の家庭が共働きの日本において、子育てをしながら働くことがスタンダードになりました。子どもの急病時の対応は大変ですが、看護師さんが見守りながら保育をしてくれる病児病後児保育施設があります。とても安心できる施設ですが、予約は電話のみで手続きも面倒だったこともあり、電話が朝一に集中しかなかつながらずストレスが多い状況でした。

「あずかるこちゃん」は、病児病後児保育施設の予約やキャンセルが24時間スマホでできるシステム。東京大学大学院協力のもと実証実験を兼ねてスタートした日本初の取り組みです。また、保育所における午睡時の幼児の呼吸や寝返りをセンサーで確認しながら安全を確保する実証実験を実施。「あずかるこちゃん」の登録は簡単に出来ますので是非ご覧ください。





## 働く場所を増やす。

横須賀市は2000年代初頭から大手企業の工場撤退が相次ぎ、雇用が減少しました。最先端技術の集積地であるYRPも入居率は2割にとどまっています。非常にもったいない状況ではありますが、私は逆に「まだ8割も可能性がある」と考えています。

市の様々な取組みの結果、新たに複数の企業誘致が決まっています。私自身、厳しい現状を可能性と捉えて発信し続けたことから企業誘致に繋がったこともあります。これからも働く場所の創出や、新たな起業家支援にも力を注ぎたいと思います。



## 働く喜びを創造する。

働く喜びを感じられる職場づくりに貢献したいと、働きたい企業ランキングで上位の会社を研究しました。市役所の人事関連の職員と勉強しに行った時は、共に気付きの機会を共有。「生きる 働く」喜びについて学ぶ機会を設け、4年間にわたるインターンシップ活動を行いました。まずは役所や身近なところから、この先も研究していきます。

「働く」をキーワードに様々な縁をつなぎ、新しいチャレンジを積み重ねてきました。ここには書ききれない出会いや提案もありました。街の政策につながったものもありましたが、ボツになったものの数ははるかに多かったです。すぐにできることはスピーディな対応を心がけ、道の凹みを直したり、樹木の剪定、カーブミラーの調整など、職員の皆様には大変お世話になりました。



脱炭素社会に向けたインフラ整備を

## 2035年に向けて。

政府は「2035年までに新車販売で電動車100%」という目標を掲げています。電動車の普及は充電インフラの普及とありきですが、充電インフラの整備はこれからです。充電場所が少ないことや、充電時間が長いという課題も挙げられます。この課題に先進的に取り組むと同時に様々な未来の移手段の研究を民官連携で進め、少子高齢化する横須賀市民の生活向上に寄与していきたいと考えています。



### YouTube 版

「よこすかライフプランナー通信」もご覧ください。

知っておくと便利な行政の情報がたくさんあります。

ただ「それを市民の皆さんにどう伝えるか」が常に課題だと思っています。

私自身、試行錯誤しながら発信していきますので、ぜひYouTubeの方もご覧ください。



よこすかライフプランナー通信  
チャンネル登録をお願いいたします



### 横須賀市公式ライン

横須賀市公式LINEと友達になると旬の情報が手に入ります。

便利な機能が続々と追加されています。登録がまだの方は右のQRコードから。



心がキツくなったら「横須賀こころの電話」へ

046-830-5407

平日：16時～23時／土日祝：9時～23時／毎月第2水曜日：16時～翌朝6時



田中洋次郎事務所 〒239-0833 横須賀市ハイランド4-27-5 Tel/Fax 046-849-5633

ウェブサイト・SNS・YouTubeもぜひ見てください <https://yokosuka-yojiro.jp/>

[Twitter] @yokosukayojiro [Facebook] facebook.com/yokosukayojiro/

[Instagram] @yojirotanaka [YouTube] @yokosukayojiro

パンデミックは依然として拡大と収束を繰り返しています。

ロシアのウクライナ侵攻によって世界秩序が揺るがされ、ここ日本でも円安や物価高という形で影響が出ており、私たちの生活が世界とつながっていることを実感する日々です。

そんな中で、脱炭素社会の実現は待たなし。

社会が変わり、人々の価値観も変わっていきます。

大切なのは、変化を事前に予測し、前向きに対応すること。

変化を恐れるのではなく、変化を楽しむこと。

よこすかにはとても可能性があります。

いやむしろ可能性しかないと思っています。

歴史や文化を尊重すると同時に、未来を見すえたまちづくりを進めれば、

人のつながりや地元愛が力となって、よこすかは変わります。

教育で、医療で、このまちの可能性を広げることができます。

「ヨコスカ最高」と、住む人が思えるまちへ。

よこすかライフプランナーとして大局の視点を持ち、より広範囲にわたる

課題解決を担うために更なるチャレンジを進めてまいります。

**田中洋次郎** 横須賀市議会議員

粟田小学校・関東学院六浦小中高・関東学院大学卒業／住宅メーカー・生命保険会社勤務

横須賀青年八日会会長歴任、自由民主党

令和4年度総務常任委員会 副委員長／議会ICT化運営協議会委員

ご質問・ご相談はお気軽に [yokosukalifeplanner@gmail.com](mailto:yokosukalifeplanner@gmail.com)

撮影地・ヴェルニー公園